

清流

高岡市立高陵中学校
第3学年だより
第5号
令和7年10月1日

よき高陵生

3年3組 担任 本田 智

1986年（昭和61年）4月、私は新規採用教員としてこの高陵中学校に赴任し、第2学年の副担任として、教員生活をスタートさせた。当時は、新校舎建設第二期工事が終わり新しい特別教室棟が完成したばかりだった。そんな私の教員生活も今年で40年目を向かえた。そしてそのうちの10年間をこの高陵中学校で勤務している。振り返れば、新規採用教員、教務主任、教頭、定年退職、そして再任用教員と私の教員生活の節目はこの高陵中学校にあった。勝手ながら高陵中学校は、私の第二の母校であると思っている。



最初の1年は、講師経験はあったものの、学年主任であった理科の先輩教員の授業を参考に毎日の授業をするので精一杯だった。部活動も全く経験のないハンドボール部を担当し、ルールもあまり分からないまま、練習試合や大会で知り合った他校の先生に教えてもらいながら顧問を務めていた。2年目は、1年生の学級担任をさせていただいた。それだけでなく、学年委員会や研修部の担当となり、仕事の量も幅も一気に広がった。それから3年間、学年をもち上がり初めての卒業学年を担当した。この3年間は、市内の理科部会先生方との授業研究や研修部で取り組んだ進路指導を中心とした学級活動、外部コーチのサポートを受けて行ったバスケットボール部の指導等、現在の私の原点が詰まっている。そして、そこにはいつも、学習に真摯に向き合い、他を思いやり、学校行事や生徒会活動、部活動に自ら取り組む”よき高陵生”の姿があった。

そんな高陵中学校が今大きく変わろうとしている。高陵中学校が変化したのは初めてではない。これまでも高陵中学校は変化してきた。現在当たり前に思う日常も、これまでの高陵生がよりよい高陵中学校を、教師たちがよりよい高陵生を求め、変化してきた結果である。

現在、新校舎（小学校棟）の増築が終わり、旧校舎（中学校棟）の改築工事が進められている。4月には、高陵小学校を迎え小中一貫校がスタートする。今度の変化では、何が求められているのだろうか。高陵小学校の後輩たちと一緒に過ごす学校生活はどのように変わるのだろうか。変化を求め、慣れ親しんだ日常から離れることに不自由さを感じるかもしれない。しかし、そこにはいつも、学習に真摯に向き合い、他を思いやり、学校行事や生徒会活動、部活動に自ら取り組む高陵生がいるはずだ。

そう、”よき高陵生”の姿は、いつも変わらない。

学級人権弁論大会の感想



今日聞いた作文は、内容は違うけれど、共通点があることに気がしました。それは、「相手の立場になって考えたら防ぐことができる、防ぐことができた。」ということです。障害者の方、友達、地球上の誰かの立場に立って、自分がしたことを考えたとき、苦しくなる可能性があると思います。しかし、自分が発する直前に相手の立場に立って考えることはとても難しいです。だからこそ自分の行動を振り返って、違和感がないか、考えるべきだと思います。一度してしまったことは、取返しがつかないけれど、2度と起こさないようにすることはできるからです。

作文を聞いて、「無関心」や「いじりと悪口の区分」等、今までの自分に当てはまる内容のものが多く、今までの考え方や見方を変えていくべきだと思いました。特に周りのことを無視したり、何も変えなかったりする、無関心というテーマは、僕もしたりされたりするので、よく印象に残りました。これは、意識して生活しないと、改善されないものだと思うので、これからの生活で周りをよく見て、働いている人を手伝ったり、感謝したりするなど、ささいな気遣いをして無関心を関心に変えていこうと思いました。

10月の予定



1	水	後期学級役員選出(～3日)	17	金	学校祭準備 学校祭打合せ
2	木		18	土	合唱コンクール 学校祭
3	金		19	日	
4	土	万葉朗唱の会 高陵小学校祭	20	月	繰替休業日
5	日	県中文祭	21	火	公聴会リハーサル
6	月	学校祭打合せ(放課後)	22	水	公聴会
7	火		23	木	
8	水	後期生徒評議会・専門委員会	24	金	人権弁論大会
9	木	県中教研大会(教科・保健) 給食なし(午後放課)	25	土	
10	金	学級討議 後期生徒評議会・専門委員会	26	日	
11	土	市中文祭	27	月	後期時間割開始
12	日	県 Jr オリンピック陸上	28	火	モップ交換日
13	月	スポーツの日	29	水	QU 調査
14	火	原則部停止(～18日) 合唱コンクールリハーサル	30	木	
15	水	県中教研大会(道徳、特活、特支)	31	金	
16	木				